

9月
10日
(土)

受験を前にイライラしているお子様に
どう接していいかわかっている・

お母様
お父様

「親力」向上コーチングセミナー

子どもたちに必要な親の励ましは、そんな難しいものではありません!保護者の方が、結構難しくしてしまっている面が結構あるのです。

子どもたちが親に求めているのは、安定です!大きな壁にぶつかろうとしている子どもたちに必要な力。それは、安心して飛び立つために土台(ベース)です。つまりその安定した土台(ベース)こそが、保護者そのものの役割なんです。

親が親として、「子供にいいものは何か?」ということを知っていると感じさせること。これが何よりも大切なことです。それを、もう一度保護者の方が再確認する(学ぶ)必要があります。

次の質問に親として自信を持って答えられますか?

◆何故勉強しないといけないんですか?

このセミナーで得られるもの

興味のある方は次ページへ

お申込み・
お問い合わせ

<http://wisdom-house.bsgie.net/>

- ◆子どもに自信を持って向き合える大きなパワー
- ◆子ども以外にも使えるコーチングスキル
- ◆同じ思いを共有する仲間たちとのSNS
- ◆具体的で効果的なコミュニケーションスキル
- ◆保護者のはつらつとしたライフプラン……など

料金
3千円

定員

限定

8名様

セミナー時間 13:30~15:30

※お時間のある方は
グループセッション付!!

場所

南塚口町1丁目 15-15 フレンティー21 306号

素敵なお部屋で

少人数VIP

セミナー

阪急神戸線塚口駅より徒歩5分

*大阪方面からお越しの場合(阪急梅田駅より)

神戸線神戸方面・普通電車12分

*神戸方面よりお越しの場合(阪急三宮駅より) 神戸線大阪方面・特急電車に乗り、西宮北口で普通電車に乗り換え19分

*お車の場合、近隣にコインパーキングございます

▼どうして勉強してほしいんですか？

カウンセリング実録公開 担当:的場 つよし

※これはクライアントの許可をいただいたの公開です！

相談者：先生、ありがとうございます。随分「元気」になってくれて感謝しています。

そこで厚かましいとは思いますが、さらにどうしたらいいか教えていただきたいのです。

私： 何でしょう？

相談者：〇〇が全然勉強しないんです。

以前は真面目に良く勉強していたんです。

でも、あれ以来、ほとんどと言っていいほど、勉強しなくなりました。

問題を抱えていた時はしようがないとしても、将来のことを考えると、やはりね……。

私： 確かに心配かもしれませんね。

では、お母さん一つ質問してもいいですか？

〇〇さんに、どうして勉強してほしいのですか？

相談者：……えっと、それは……、

ほとんどの保護者の方は、すぐに出てきません。

出てきたとしても、ご本人も何となくスッキリしてはいない様子です。

- ・いい「学校・会社」に入るため
- ・いろんな知識が手に入るから
- ・できたほうがいいから

いずれにしてもよく出てくる答えは、こんな感じになります。

この答えが悪いと言っているわけではありません。

ポイントは、保護者が確信をもって答えていない点です。

自分が育った環境や社会にとても大きな暗示を刷り込まれていると言えるかもしれません。

では、さらに質問します。

「先ほど答えを出されました。

- ・いい「学校・会社」に入るため
- ・いろんな知識が手に入るから
- ・できたほうがいいから など

それは、何のためですか？」

保護者の方は、質問することには慣れていますが、されることには余り慣れていない方がほとんどです。

ここまで来ると、とても時間がかかります。

そして私も少しお手伝いしながら答えを出していただきます。

色々表現は違いますが、要約するところです。

「〇〇に幸せになってほしいから……。」

そうなんです。ここまで来ると保護者はスッキリとされます。

誰であろうとも、自身の思いにぴったりの言葉が見つかった時には本当にスッキリされます。

さらに質問をつづけます。

私： 「では、お母さんが考える幸せってどんな状態ですか？」

さらに質問をつづけます。

相談者：「まずは、お金に困らず、健康でいれば、しあわせです……、ね、ハイ。」

私： 「それだけで十分ですか？」

-----結構時間がかかります-----

相談者：「えっと……、素適な人に巡り合う。これだいいですね、ウン。」

私： 「もうないですか？」

相談者：「お金・健康・人……、以上ですね！」

私： 「もう十分そうですね。私も同感です。

人間関係・経済状況・健康。この三つが十分

満足していれば他にほしいものは、特にありませんよね。

相談者：「ハイ。」

私： 「ところで、この幸せの条件と勉強との関係性はいかがでしょう？

現在、収入と偏差値は必ずしも一致していません。当然、後の二つ（健康・人間関係）も偏差値とは連動しませんよね。なら『勉強=幸せ』とは限らない。でもやはりなんとなく勉強したほうがいいと思ってしまうよね。」

相談者：「は……い。」

私： 「よく考えて下さい。勉強に関しては、幸せに繋がるものとして『何となく』やったほうがいいと思うんですよね。」

相談者 「やっぱり、『何となく』ですけど……」

私： 「子どもたちにとって、辛いのはその『何となく』なんですよ。ちょっとイメージしていただいてもいいですか？

いずれにしてもやった方が良いというものがあったとします。それをご主人が、お母さんに勧めるとします。「聞いたんだけど、お前も、やっとい方が良いらしいぞ！ しんどいらしいけど。」

そしてその理由が、もし『何となく』なら、素直に『辛いけど、やるわ』って感じて返事が出来るでしょうか？

子どもたちは、この問題に誰からもハッキリと答えてもらえず、ただ『何となく』の理由だけで辛い「勉強」を強いられます。

学校でさえもはっきり答えてくれませんか。

お母さんも、覚えはありませんか？」

相談者：「あります・・・、でもそんなこと考えたこともありませんでした。当たり前のことだと思っていましたから。」

私：「それが悪いと言っているのではありませんよ、その意味（勉強する意味）をお母さん・お父さんが持っていることが大切なんです。『何となく』ではない理由を。家庭のルールに正しいも正しくないもないんです。

『私たちは、こう考え、そしてそれが良いと信じてるんだ』という姿勢を子ども達に示すことが大切だと私は考えます。」

相談者：「でも正直、自信をもって言えるような答えは、・・・持ってないような気がします。

・・・先生ならどう答えるのですか？」

私：「私なら、勉強の『良い面・悪い面』をハッキリさせることから始めます。それは、・・・

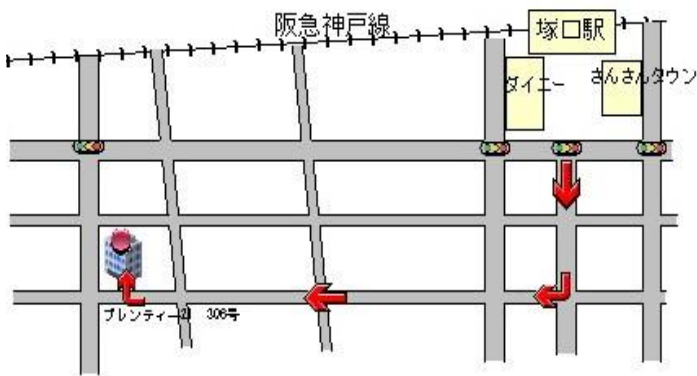
----この続きはセミナーで-----

お申込み&問い合わせ

<http://wisdom-house.bsgie.net/>

(会場順路)

南塚口町1丁目15-15 プレンティ-21 306号室



◆担当講師プロフィール◆

◇講師・・・岩崎恵美

Emi Iwasaki



3人の子供の母。心理コミュニケーター。

Wisdom- House 代表

(心理カウンセリング・コーチング等のサービスを提供) また、子どもたちに自らコミュニケーション指導も手掛ける。

数年前、あることをきっかけに自己流で心やコミュニケーションを分析。後に、実践心理学 NLP 他を学び、心の仕組みや悩み事解決法を取得。同じような人たちに「楽」を届けるために活動を開始。現在はカウンセラーやセミナー講師として精力的に活躍中。

◇講師・・・的場 つよし

Tsuyoshi Matoba



3人の子供の父。心理トレーナー。

24年間、高校教育現場でコミュニケーションに向き合い続ける現役教員。心理トレーナー。

心理学講座・各種セミナー&研修講師(企業・学校等)・カウンセラー・コーチとして活動中。

常に臨床(現場)からのフィードバックを集積し伝えることを心がけている。

開催ワークショップ・セミナーは多数。

- ・「各種心理トレーニングセミナー」
- ・「NLP資格講座を含む各種NLPセミナー」
- ・「親の気持ちが楽になる講座」
- ・「受験生対象メンタルトレーニング講座」
- ・「親力向上コミュニケーション講座」

(中学校・PTAの依頼による) など

ミッションは「大人元気化プロジェクト」の推進。

ワクワク感いっぱいのパワフルな大人増産中！！

日本臨床心理カウンセリング協会公認 臨床心理カウンセラー

米国NLP協会認定トレーナー

TPIEコーチ

実践カウンセラー育成協会 代表理事

日本心理カウンセラー協会 理事

チームパワーズ(NLP資格コース運営団体) 代表

Heart Design Lab 主催代表